

群馬県公式アプリ「G-WALK+」 6/1 リリース

G-WALK+(ジーウォークプラス)は群馬県民の皆様の日々の健康づくりをサポートするアプリです

アプリをインストールし初期登録

ポイントを貯める

貯めたポイントは抽選で特典と交換

歩数記録に加え、健康ポイントなど健康づくりに役立つ機能が満載。

ぐんま乗換 コンシェルジュ

群馬県内の鉄道、バス、タクシーなどの乗換情報を網羅した、経路検索アプリ「ぐんま乗換コンシェルジュ」に新たな機能が追加!

群馬の移動をもっと便利に!

アプリ新機能

バスの現在位置がわかる!

SNSやメールで共有できる!

バス乗換案内や位置情報を素早く検索。



【トピックス】
県政課題を解決するDX
(デジタルトランスフォーメーション)

健康寿命延伸、公共交通の利便向上といった県政の重要課題をデジタル技術で解決していきます。



バーチャル展示場がコロナで活躍。県内企業の展示・商談会をウェブ上で常設開催。

地域課題対応



脱炭素 社会づくり に向けた、 県内企業の 再エネ投資 を支援。

再エネ投資や 革新事業加速

グリーンイノベーションに56億円

2022年2月5日 読売新聞より抜粋

目先の支援でなく、脱炭素やデジタル、観光など、新たな成長分野への前向きな投資に重点支援する姿勢が良いですね。

癒やしを求める都市住民等にターゲットを絞った旅行商品を開発することで、高額な広告費をかけずにブランド化を目指す。



ぐんまちゃんアニメに4億円以上かける一方で、群テレの広報番組を打ち切る姿勢は検証が必要です。

ぐんまちゃん費1億円増 群テレ広報番組は打ち切り

県は予算編成で159件の事業を見直し、約8億7千万円を削減。緊縮が目立つ中、21年度比で1億円増やしたが、県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」のブランド化(4億3184万円)だ。

「ぐんまちゃんは、群馬県最大のキャラコンテンツと言っても過言ではない」。山本知事は会見で、こう力説した。昨秋から年末にかけて13回放送したテレビアニメの総編を来年度も制作すると表明。ツイッターでのトレンド(流行)入りなどを根拠に「十分投資効果がある」と述べた。

一方、群馬テレビ(群テレ)で1971年4月の開局から続いていた県の広報番組は打ち切り、8683万円を削減した。

打ち切りとなる番組は、毎週金曜日午後7時半からの「ジャンボロード」。人気お笑いトリオ「ジャングルポケット」が県内各地を旅して地元の人と交際する30分番組で、昨年4月に開始されたばかりだった。群テレ関係者は「新年度も引き続き放送するという認識だったので、驚きはあった」と話す。

R4年度予算について、後藤の長年の提言がどの程度反映されているのか、という視点で検証します。

財政面では、事業の見直しを進め、県の貯金にあたる財政調整基金を増額確保すると同時に県債発行額を抑え、着実に健全化を進めています。

また、脱炭素社会づくりに向け、3月に制定した条例による、県内企業等への再エネ設備の義務づけなどの「負担」に対する「支援」策や、新たなグリーンビジネス創出支援策が盛り込まれています。

一方、懸念もあります。ぐんまちゃんアニメのように、緊急性が高いとは言えない事業に4億円以上をかける一方で、開局以来続けてきた群馬テレビの県広報番組を打ち切ったことは、議会として検証が必要です。

産業支援も、コロナの影響を受ける企業の下支え策だけでなく、新たな成長分野へ前向きに投資する企業が重点で支援する点が特長です。



財政調整基金の着実な積み上げは評価。

日々の疲れを癒やす過ごし方 「リトリート」の聖地に 新たな温泉振興2.7億円

県は観光活性、特産品のブランド化を目指すとして「リトリート推進」を掲げ、関連予算として2億7777万円を計上した。県は「リトリート」について、忙しい日常から離れ、心身をリセットし、日々の疲れを癒やす過ごし方として、県観光魅力創出課は2022年度から「リトリート推進」を新設する。

【R4年度予算 後藤目線で点検】

健全度は向上。要チェックな事業も。